

ロールスクリーン「ラルクシールド」などの抗ウイルス加工生地 「ポルテⅡ」が新型コロナウイルスの減少を確認 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)を用いた抗ウイルス性能評価試験により

立川ブラインド工業株式会社(本社:東京都港区三田、資本金:44億7,500万円、代表取締役社長:立川光威)は、ロールスクリーン「ラルクシールド」、タテ型ブラインド「バーチカルブラインド」にラインナップしている抗ウイルス加工生地「ポルテⅡ」に対して実施した抗ウイルス性能評価試験により、新型コロナウイルスの減少を確認しました。

この試験は、一般財団法人日本繊維製品品質技術センターに委託し、JIS L 1922「繊維製品の抗ウイルス性試験方法」に基づき、試験ウイルスに新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)を用いて、時間経過によるウイルス粒子数の変化を確認したものです。その結果、2時間後の感染性ウイルス粒子が、接種直後と比較して99.9%以上減少していることを確認しました。



抗ウイルス加工生地「ポルテⅡ」は、今年6月にリニューアルするロールスクリーン「ラルクシールド」、および4月にリニューアルしたタテ型ブラインド「バーチカルブラインド」に各6色ラインナップしており、昨今のコロナ禍による衛生面への意識の高まりを受け、様々なシーンで採用が増えています。

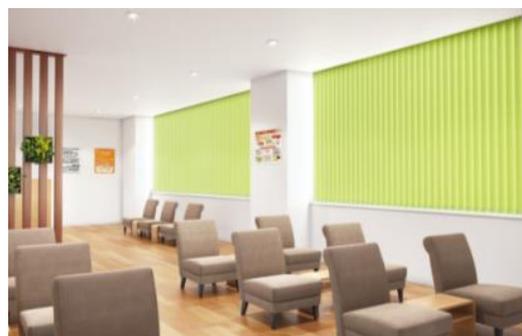
抗ウイルス加工生地「ポルテⅡ」施工例



ロールスクリーン「ラルクシールド」

参考本体価格(税別): 40,600円
(幅2000mm×高さ2000mmの場合)

※表示価格は消費税を含まないメーカー希望小売価格です。取付け・工事費、物流諸経費等は含まれておりません。



タテ型ブラインド「バーチカルブラインド」

参考本体価格(税別): 55,200円
(スラット幅100mm、幅2000mm×高さ2000mm)

試験概要

- 試験機関: 一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター
- 試験方法: JIS L 1922「繊維製品の抗ウイルス性試験方法」準用
試験片(当社のポルテⅡ)に新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)懸濁液を接種し25℃で2時間静置する。静置後、試験片に付着したウイルスを洗い出し、プラーク法*でウイルス感染価を測定する。
*プラーク法: ウイルスに感染すると細胞形状が変化する現象(細胞変性)を利用したウイルス量の測定法
- 試験ウイルス: Severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 (SARS-CoV-2)
NIID分離株; JPN/TY/WK-521
- 試験対象: 抗ウイルス加工生地「ポルテⅡ」
- 試験結果: ウイルス感染価(感染性ウイルス粒子数)が、接種直後100万から2時間後200以下に減少

※抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。また、ウイルスの働きを抑制するものではありません。

※医薬品や医療機器などの医療を目的とした製品ではありません。

※本製品は感染予防を保證するものではありません。

※掲載しているデータは試験機関による試験結果であり、保証値ではありません。また、実際の使用状況で同様の効果を保證するものではありません。

※本試験は新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)を用いたものですが、変異株を含むすべてのウイルスを検証したものではありません。

※試験の結果等については、無断での転載及び利用は固くお断りします。

※転載、利用等を行っている一切の第三者の表示物・ウェブサイトについて関知するものではありません。